

# 令和5年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

令和5年4月27日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



ホタテガイの小型のラーバが出現しています。  
ホタテガイ稚貝の付着はまだ少ない状態です。

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の透明度は13.0mでした。水温は欠測です。
- 唐丹湾では、殻長200 $\mu$ m未満の小型のホタテガイラーバが66個/m<sup>3</sup>（昨年同時期：40個/m<sup>3</sup>）、200 $\mu$ m以上の大型のラーバが2個/m<sup>3</sup>（同：1個/m<sup>3</sup>）出現しました。
- ムラサキイガイ、キヌマトイガイのラーバ出現数は、昨年同時期よりも少なめとなっています。
- 野田湾、唐丹湾では、ホタテガイの付着稚貝は1～2個/袋とまだ少ない状態です。
- 小型のホタテガイラーバは出現し始めているので、採苗器の準備を進めてください。

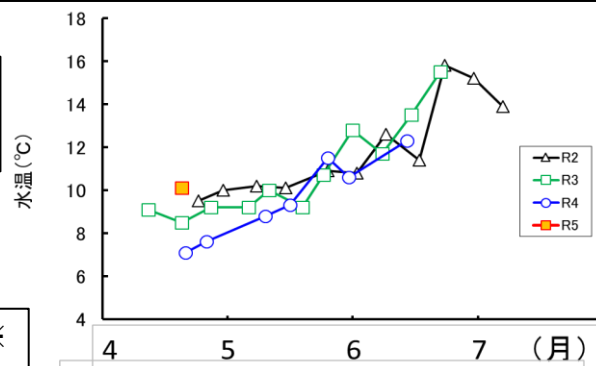
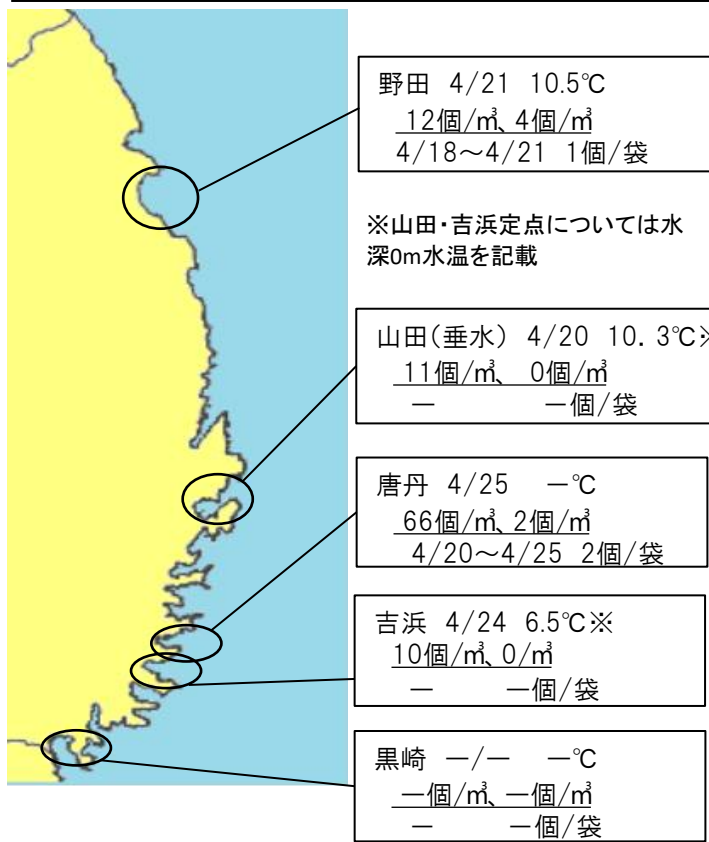


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

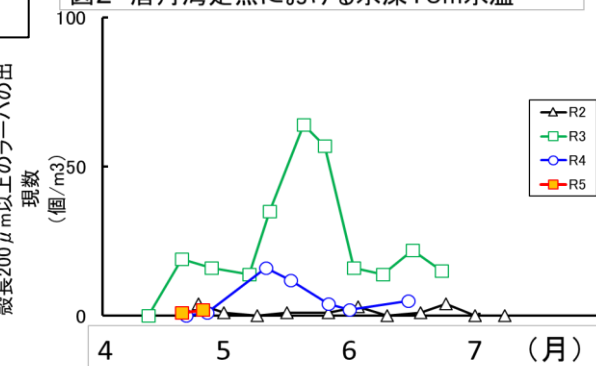


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

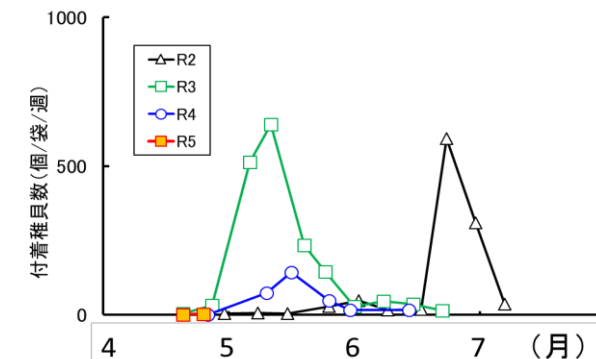


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数

調査点 調査日 水深10m層水温  
ラーバ出現数(殻長200 $\mu$ m未満、200 $\mu$ m以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果  
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月10日頃に  
発行する予定です。